

土木技術検定試験

土木がわかると、 未来がかわる



- 土木技術検定試験とは：土木工学に関する基礎的な知識や土木技術者としての素養をどの程度有しているかを確認するための試験です。
- 試験結果の活用：受験者自身の学力を自己点検することができます。また、教育機関、官公庁、企業等では、入社を希望する人の学力評価や社員の基礎的な技術力の確認などに利用しています。
- 土木学会認定土木技術者資格制度との関係：土木技術検定試験は、土木学会認定土木技術者資格制度における「2級土木技術者」資格審査を兼ねています。

- ◇入社のためのエントリーシートで土木技術検定試験の結果の確認が進んでいます。
- ◇詳細はホームページをご覧ください。

資格取得流れ

特別上級土木技術者
上級土木技術者
1級土木技術者

更にプロフェッショナルな資格へ!

2級土木技術者登録 → 業務に活かす!

実力をつける!
繰り返し受験でスコアアップ!!
自己研鑽の場!

土木技術検定試験合格 → 就職活動に活かす!

エントリーシートへの記載を
求める会社が増えています。

学生 → 大学院1年生 社会人1年目
大学院2年生 社会人2年目

受験資格	どなたでも受験することができます。受験できる回数の制限はありません。
受験日	自分の都合に合わせた日時で、いつでも受験することが可能です。
受験申込期間	通常、受験希望日の2ヶ月前から3営業日（土日受験は4営業日）前まで
受験会場	全国の試験会場の中から選択することができます。
■受験の申込：Webサイト http://pf.prometric-jp.com/testlist/jsce/index.html	
問題形式	多肢選択方式
解答数	70問（共通：10問必須、専門：90問から60問を選択）
試験時間	2時間（120分）
受験料（1回あたり）	6,000円（税抜）※理由の如何にかかわらず返還しません。団体申込割引（15名以上）5,500円（税抜）詳細はホームページをご覧ください。
支払方法	クレジットカード払い、コンビニエンスストア払い、またはPay-easy払い
同一会場での団体受験	同一会場に15名以上の方が同日時に受験を希望される場合、土木学会までお問い合わせください。
試験結果通知	試験会場で試験結果レポートをお受け取りください。合格された方には、後日「2級土木技術者資格認定証」の交付申請書類をお送りします。



お問合せは



公益社団法人 土木学会
技術推進機構まで。

TEL : 03-3355-3502

FAX : 03-5379-0125

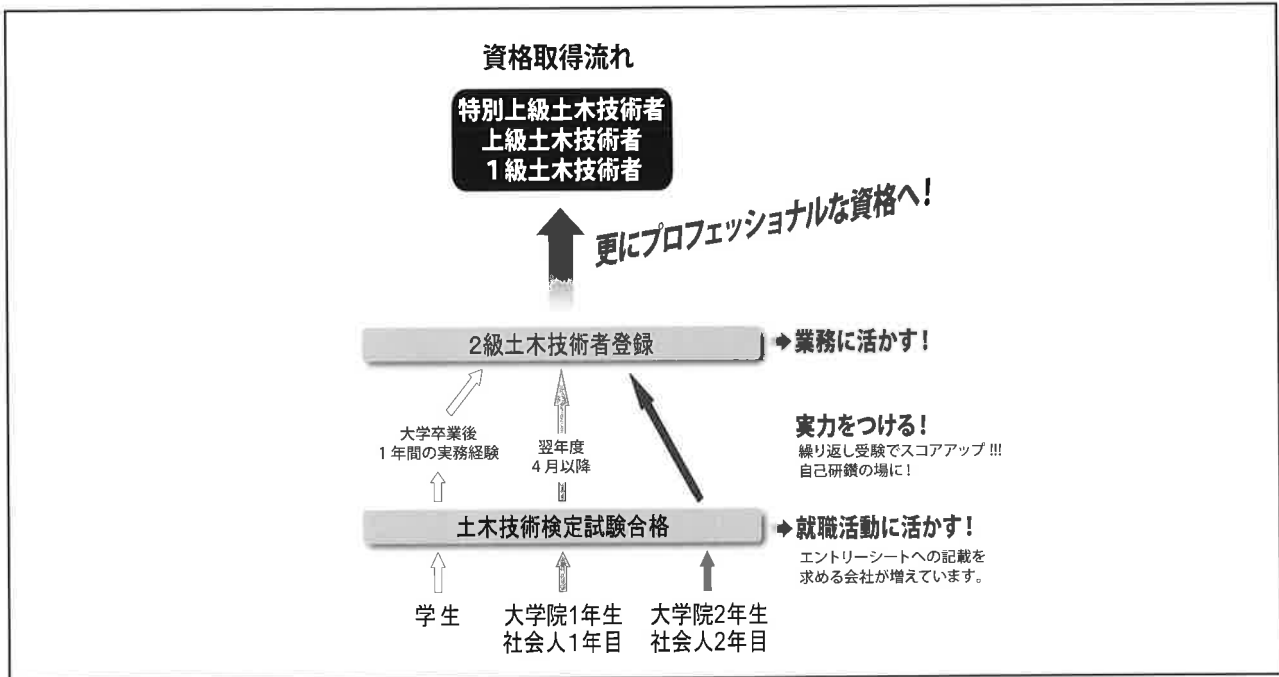
E-mail : opcet@jsce.or.jp

ホームページ <http://www.jsce.or.jp/opcet/>

■ 土木技術検定試験の位置づけ

土木技術検定試験は、土木工学に関する基礎的な知識や土木技術者としての素養をどの程度有しているかを確認するための試験です。この試験により、学生の方々にとっては、自身の学力を自己点検することができ、また、教育機関、官公庁、企業等では、この試験結果を継続教育成果の確認、入社を希望する学生の学力評価（エントリーシートへの記入等）、新入社員の基礎的な技術力の評価などに利用することができます。

さらに、土木技術検定試験に合格した場合には、土木学会認定土木技術者資格制度における「2級土木技術者」の能力があると見なされ、実務経験年数等の資格登録要件を満たせば、本人の申請により「2級土木技術者」の認定を受けることができます（下図参照）。



土木技術検定試験では、CBT（Computer Based Testing：コンピュータによる試験）方式を採用しています。試験の運営は外部に委託しています。（プロメトリック（株））この方式では、受験者は、希望する日時、会場で受験でき、その場で試験終了後に結果を知ることができます。

【出題範囲】

共通問題：10問必須、専門問題：6分野×各15問＝90問から60問を選択

主要分野	キーワード
土木材料・施工・建設マネジメント	コンクリート、鋼材、瀝青材料、複合材料・新材料、木材、施工、維持・管理、建設事業計画・設計、建設マネジメントなど
構造工学・地震工学・維持管理工学	応用力学、構造工学、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、風工学、地震工学、耐震構造、地震防災、維持管理工学など
地盤工学	土質力学、基礎工学、岩盤工学、土地質、地盤の挙動、地盤と構造物、地盤防災、地盤環境工学など
水工学	水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学など
土木計画学・交通工学	土木計画、地域都市計画、国土計画、防災計画・環境計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、測量・リモートセンシング、景観・デザイン、土木史など
土木環境システム	環境計画・管理、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、土壌・水環境、大気循環・騒音振動、環境生態など